

地方創生へインバウンド拡大

空路、鉄路、道路を整備

古田 菜穂子氏



美食、美酒、山形ならではの精神文化などを体験プログラムにして観光商品にしていくべきだ。

熊谷 2015年に「みちのくインバウンド推進協議会」を設立し、ターゲットをタイに絞って誘客に取り組んできた。分かったのは、外国人旅行者を増やすためには空路で直行便を持つことが有利ということ。難しい場合は海外定期便が就航している仙台空港を東北のハブ空港にして山形、庄内に呼び込む戦略を考える必要がある。実際、タイ航空は仙台空港に定期便を就航させる方向で検討している。タイ・バンコクのスワンナプーム国際空港は東南アジアのハブ空港となっており、周辺国も仙台空港を利用する可能性が高い。仙台か



定期チャーター便を利用して県内入りした台湾の観光客。交流人口拡大に向け、インバウンド需要を取り込む戦略が必要だ。山形市・山形空港

ら山形まで車で1時間程度なので、バス輸送できる体制を整え、インバウンドがさらに拡大すると確信している。

「アドバイザーとして、これまでの議論について感想を聞きたい。」

古田 出身の岐阜県で観光交流推進局長を務め、海外に對して食や文化資源などをパッケージにして売り込んできた。山形は観光のポテンシャルが高く、地域資源が満載だ。美食、美酒、山形ならではの精神文化などを体験プログラムにして観光商品にしていくべきだ。国により求めるもの

大沼 瑞穂氏



日本政府が掲げる観光振興策の流れに乗ることが大切だ。重要なのは人材育成。衛生管理も必要。

加藤一 東北地方を訪れる外国人旅行者は一つの県にとどまらず観光するケースが多くなり、流動性に乏しいという。インバウンドを拡大するには、まずは周辺各県と協力して観光圏の広域化を進めることが大事だ。中でも、国際便が就航している仙台空港との

加藤一 これまで出された展望などを踏まえ、国会議員の皆さんに意見を伺いたい。

遠藤 山形には出羽三山や山寺などの宗教文化があり、自身は他の地域にはあまりが就航している仙台空港との

加藤一 ソフトの強化とハードの整備は車の両輪の関係と考える。まずはハード面から話をしたい。格安航空社

加藤 一誠氏



インバウンドを拡大するには、まずは周辺各県と協力して観光圏の広域化を進めることが大事だ。

どう線に結び付けられるかが重要だ。山形大の重粒子線がん治療を生かした医療ツーリズムも国内外で注目されるだろう。インフラ整備の視点では山形だけでなく、東北全体でどうネットワークを構築するかが大切だ。青森や金沢は新幹線開通で観光客が増えており、本県も誘客のため東京山形間の乗車時間を1時間台にしたい。自民党の整備新幹線等鉄道調査会の会長代行に就いた。財源を含めトータルで山形新幹線や奥羽、羽越

（LCC）のジェットスター・ジャパンが成田、庄内両空港を結ぶ新規路線の就航を前向きに検討しており、交流拡大のチャンスだ。チャーター便も重要で、滑走路延長を進める必要がある。道路の横軸整備も欠かせない。観光だけに限らず多方面で道路整備は必要とされており、特に酒田石巻道路の確保に力を入れた。新幹線は基本インフラという視点から予算を幅広く確保するための手段を模索する必要があるのではないかと。クルーズ船についてはまだ地域の経済効果につなぎきれない。知恵の出どころで、官民一体で取り組むべきだ。

舟山 来県を促すポイントは交通アクセスと目的だ。アクセス面の課題は多いが、今あるものを生かすため、各方面の知恵を絞りたい。キーワードは「つなぐ」。乗り継ぎアクセスを改善し、広域連携で観光客を呼び込む工夫が必要だ。ローカル線は一見、不便に見えるが、旅行者は速さではなく情緒、景色を求める面もある。ローカル線を利用すれば、そこにも魅力を感じてもらえることができる。山形の魅力は山形にしかなく、ものづくりや農作業など山形ならではの体験を売り込むことも大切だ。その体験をつないで観光商品をつくり、発信したい。素材は多い。インバウンドが増えれば国内観光客も増える。知恵を結集し、本県の総合力を発揮したい。

大沼 日本政府が掲げる観光振興策の流れに乗ることが大切だ。重要なのは人材育成。台湾の観光客が増え、各旅館には台湾や中国の従業員が増えている。宿泊分野で外国から人材を受け入れ、育成すること、外国の観光客が山形に何を求めているか、どういった観光ルートが必要かが分かる。衛生管理も必要。日本は衛生的だと言われるが、実は欧米諸国の基準に比べれば、トイレなどはまだまだ。国際的な衛生基準をしっかりと表に出すことで、安心して過ごしてもらおうことができる。香港から山形へ来る人が増えているが、山形の人は香港やタイという地域・国について多く知らない。相互理解を進めるためにも、各国について知る場所や機会が必要になる。

20面に続く